

美濃陶磁歴史館だより

土岐市美濃陶磁歴史館は、新博物館建設に伴い休館中です。

◆文化財の複製製作プロジェクト

現在、土岐市では市民から寄せられた篤志寄付金を基に、文化財の複製製作プロジェクトを進めています。南北朝・室町時代には土岐市内にあったものの、現在は県外にある代替品の存在しない稀少な文化財を対象としています。今回の複製製作プロジェクトは、大きく2つに分けられます。最新の科学技術を使用した金属製品のデジタル複製（3Dモデル）と、専門職人の手作業による古文書の複製です。3Dモデルは、パソコン等を使用して見るデジタルデータなので、古文書の複製のように実際に手に取って見ることはできません。しかし、このデータがあれば、今後いつでも3Dプリンターによる複製の他、鋳型を作り本物と同じ金属製の複製を作ることが可能です。

【3Dモデルを製作する金属製品】

『定林寺の雲版』(飯田市、開善寺蔵)

雲版：禅寺において僧侶への合図に打ち鳴らされた道具

製作年：応永23(1416)年

寸法等：縦57.3cm、横55.1cm、厚0.6～0.7cm、重さ11.5kg

定林寺：泉町定林寺にあった大寺院、開基は土岐頼貞

※開善寺へもたらされた経緯には諸説あります。

- ・武田軍の東濃侵攻(永禄8(1565)年か)で奪われた
- ・開善寺中興の速伝宗販(土岐氏出身)がもらった
- ・土岐頼貞が開善寺の開山に関わる大施主だった関係から贈られた



定林寺の雲版



高山大神宮の鰐口



鰐口の3Dスキャンの様子

『高山大神宮の鰐口』(伊那市、遠照寺蔵：伊那市指定文化財)

鰐口：寺・神社の堂前に吊るされ、綱で打ち鳴らす道具

製作年：文明15(1483)年

寸法等：直径36.6cm、厚14.2cm、器壁厚0.7cm、重さ10.9kg

高山大神宮：土岐津町高山にあった神社(現在の南宮神社か)

※遠照寺へもたらされた経緯には諸説あります。

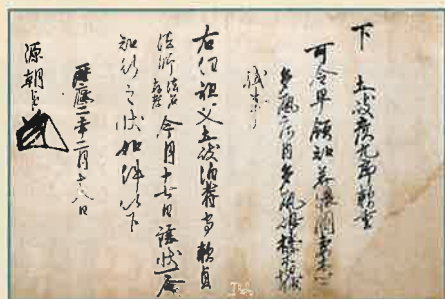
- ・天正10(1582)年の織田軍による甲州征伐時、森長可が陣鐘として徴発し、食料提供の礼として寺へ納めた
- ・遠照寺が高山大神宮を管理・運営する寺だった時期があり、その時に寺へ寄進された

【複製を製作する古文書】

『土岐家文書』(群馬県立歴史博物館寄託)

沼田藩土岐家(明智氏の子孫)に伝わる文書群から、明智彦九郎頼重(明智氏初代)宛ての書状3点について複製を製作します。頼重は、祖父頼貞から譲られた妻木郷(土岐市南部と多治見市笠原・滝呂町)を本拠として、南北朝時代に活躍した武将です。

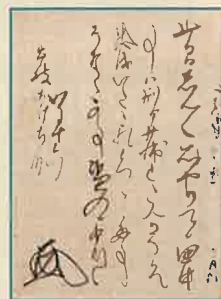
- ・足利直義下文：暦応2(1339)年 土岐頼貞の譲り状に従い、頼重が妻木郷等を相続することを許可した文書
- ・足利尊氏書状：観応2(1351)年 戦況を報告し、頼重をとて頼みにしていることを伝え、速やかな参陣を乞う書状
- ・足利義詮書状：年不詳、観応元～2(1350～51)年頃か 頼重を常に頼みにしていることを伝え、忠節を乞う書状



足利直義下文



足利尊氏書状



足利義詮書状

高精細写真を基に色等の補正を行い、古文書と同じ素材で質感まで調整した和紙に印刷します。その後、経年変化等の詳細な特徴を手作業で再現していきます。

◆出張展示開催報告『美濃焼と土岐のものがたり』（会期 2/7～6/7）



これまで検討を重ねてきた新しい博物館の歴史展示（常設展示）について、実際の資料の一部を用いて試験的な展示を行いました。また、来場者アンケートだけでなく、もっと広く多様な意見を募集するため、市民参加型のワークショップも開催いたしました。展示の見やすさや分かりやすさ、内容の印象、興味を持った点、改善点など、土岐市らしい歴史展示とはどうあるべきかについて、貴重なアイデアを数多くいただくことができました。今回明らかとなった展示手法や構成の課題を検討し、展示設計に反映してより良い展示作りを進めていきます。

展示解説の様子



2回実施した展示解説も盛況でした。

市民参加型ワークショップの様子



展示室での意見交換



アイデアのとりまとめ



当館では、新しい博物館の開館へ向けて「美濃焼」と「土岐市の歴史・文化」について、学芸員とともに学び体験する講座を開催しています。2026年度後半も土岐市内各地で開催いたします（参加費無料）。

2026年度前半に行った体験講座の作品紹介



素敵な作品ができました。

上：「石のまが玉作り体験」

左：「やきもの職人体験会」

11/7 (土)	『曾木の石造物を訪ねる ～信仰・癒し・石の記憶～』 時間：10:00～12:00 ※雨天の場合：11/14（土） 講師：中島茂（当館学芸員） 集合場所：曾木公園駐車場 定員：30名
2027 2/6 (土)	『京の「瀬戸物屋町」と美濃桃山陶』 時間：13:30～15:30 講師：西森正晃氏（京都市文化財保護課） 会場：セラトピア土岐 3階大会議室 定員：70名
2027 3/6 (土)	『新博物館周辺遺跡を歩く ～元屋敷窯と乙塚古墳・段尻巻古墳～』 時間：13:30～15:30 ※雨天の場合：3/13（土） 講師：当館学芸員 集合場所：旧美濃陶磁歴史館駐車場 定員：40名

要事前申込 申込方法：電話（0572）55-1245 / メール toki_museum@toki-bunka.or.jp
参加者氏名（全員） / 代表電話番号（メール） / 居住市町村 / 希望の回を記載
※募集は9/15（火）に始まっていますので、定員に達している場合がありますことをご承ください。詳細についてはお問い合わせください。

子ども講座『石のまが玉作り体験』

日時 12/5（土）

① 9:30～11:30

② 13:30～15:30

※応募者多数の場合は抽選
※11/21（土）までにメールで全員に結果を通知。メールが受信できるように設定してください。期日までに返信がない場合は電話にてお問合せください。

対象 小中学生 ※小1～3は保護者同伴

定員 各回20人 材料費400円

会場 土岐市立鶴里公民館2階ホール

申込期間 11/2（月）～17（火）

申込方法 メール ※1件につき応募は3名まで

メール記載事項

参加者氏名（全員） / 学校名・学年（全員） / 保護者氏名 / 電話番号（緊急連絡先） / 希望の部（①/②）

※メール受付後、受領メールを送信します。届かない場合は、メールの受信設定をご確認の上、お電話にてお問い合わせください。



講座のメール申込はこちら
（一般・子どもともに）



◆次回出張展示『これ何の形？やきものの形!』

会場：土岐市美濃焼伝統産業会館
会期：令和9年2月6日（土）
～6月6日（日）

猿形水滴



人面・歡足付ミニチュア壺



鉄釉花形製品

「新博物館を応援して、つながろう！」

トキハクプロジェクト
メンバー募集中!

「メンバー登録」はこちら

＼メールで情報をお送りします／



土岐市文化財情報 美濃陶磁歴史館だより vol.21 2026年10月号

発行日／2026年9月30日

編集・発行／（公財）土岐市文化振興事業団（土岐市美濃陶磁歴史館）

〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口2121-1 土岐市文化プラザ3階

TEL：0572-55-1245 メール：toki_museum@toki-bunka.or.jp

（公財）土岐市文化振興事業団では、土岐市から美濃陶磁歴史館の運営と埋蔵文化財調査を受託しています

トキハクプロジェクト
の情報も
随時更新中!

美濃陶磁歴史館
WEBサイト

